

1. 内外政

- ・14日、ウサトウイ・パトリア(祖国)党党首は、自身はモルドバの欧州統合路線を支持している旨発言。
- ・15日、レアンカ首相は、バイデン米副大統領と電話会談を実施し、11月30日の議会選挙、二国間関係及び地域情勢などを議論。レアンカ首相は、民主的社会及び国家を築くため、モルドバは選挙後も引き続き欧州統合路線を採る旨発言。
- ・17日、ヴォローニン共産党党首は、欧州統合路線は支持す

るが、ロシアとの良好な関係が保てないならば、連合協定の履行には反対する旨発言。

2. 経済

- ・15日、国家統計局は、本年1～8月期の対外貿易赤字が18億5,000万米ドル、輸出額が昨年同時期比で0.6%増の15億5,000万米ドル、輸入額が同3.1%減の34億米ドルであった旨報告。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)